

町村週報

(町村の購読料は会費)
の中に含まれております)

2953号

毎週月曜日発行

発行所 全国町村会 〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号：電話03-3581-0486 FAX03-3580-5955

発行人 石田直裕：定価1部40円・年間1,500円(税、送料含む) 振替口座00110-8-47697

<http://www.zck.or.jp>

春を告げるミモザ



も く じ

随 情 情 フォーラム 活
想 報 報 ラム 動

藤原会長が第31次地方制度調査会総会に出席……………(2)

「住みよさが魅力」のやすらぎと感動の定住拠点づくりへ青森県八戸町……………(4)

町村Nav……………(8)

国政情報……………(10)

雑感「知足」……………(11)

兵庫県佐用町長 庵途 典章……………(11)

◎写真募集◎

表紙に掲載する写真を募集しています。採用者には、図書カード(3千円)を差し上げます。
写真には撮影者の住所、氏名及び撮影場所・日時を明記して下さい。なお、採否は当方に一任願います。
送り先：全国町村会・広報部

コラム

今も響く古典のメッセージ

千葉市男女共同参画センター名誉館長
NHK番組キャスター

加賀美 幸子

「言葉」は、伝えるだけではなく、ものを考える道具でもあり、内に向かって自らを叱咤激励するものでもある。今若い人たちの事件事故のニュースを見聞きするたびに、自らを説得し励ます言葉を持つていなかったのではないかと、考える言葉も乏しかったのではないかと辛くなる。自らを励ます言葉を内に持つていれば、周りからどう扱われようと、どんな状況も乗り越えられるはずではないだろうか。

言葉の力に若い人たちは気づいてほしいのである。仕事から長い年月、言葉と向き合っていると、今の時代、ますます活き活きと響く古典の新鮮さと日本語の力に改めて気づき励まされる思いである。古典や漢詩の番組を長く今も担当しているが、古典を読んでいると私たちはいかに古くから漢詩に親しんできたか、改めて知らされるのである。

多くの例があるが…教科書でも取り上げられる『枕草子』の中の「香炉峰の雪」の

段は、地域、国、時代を超えて胸に響く。…ある雪の日、清少納言の仕える中宮定子が「少納言よ香炉峰の雪はどうであろう」と仰るので、御簾を高く巻き上げたところ、中宮さまは嬉しそうにお笑いになった…中宮も清少納言もみんな「遣愛寺の鐘は枕を敲てて聞き 香炉峰の雪は簾を撥けて看る」という白居易(白楽天)の漢詩を読んでいたのである。しかしその後がいい。「廬山は昔から名利を棄てた人のすむところ、ささやかな司馬という職だつていい。心身とも安らかに暮らせる所こそ安住の地、なにも都・長安だけが故郷・人生の目的地というわけでもあるまい」と言い切っているところである。

香炉峰の雪の部分に有名だけれど、その後続く「唐の都・長安をみんな目指すけれど、安住できるわが地こそ大事じゃないか」という白居易の結びをつれしく読む。地域、国、時代を超えて納得できる人々の心ではないだろうか。

藤原会長が第31次地方制度調査会総会に出席

「地方行政体制とガバナンスのあり方で答申」

内閣総理大臣の諮問機関である第31次地方制度調査会（会長・畔柳信雄三菱東京UFJ銀行特別顧問）は、2月29日に第3回総会を開き、「人口減少社会に的確に対応する地方行政体制及びガバナンスのあり方に関する答申」を決定した。

全国町村会からは、藤原会長（長野県川上村長）が出席し、答申案に対して意見を述べた。



△意見を述べる藤原全国町村会長

今回の答申案では、行政体制のあり方について、人口減少社会の中でも市町村が引き続き持続可能な行政サービスを提供できるよう、広域連携等と外部資源の活用による行政サービスの提供を提言したほか、ガバナンスのあり方については、住民の信頼向上のため自治体事務の適正性確保の要請が高まっていることから、長・監査委員等・議会・住民に関する改革案を提言している。

総会では、はじめに土屋総務副大臣が「今回の答申案は、人々の暮らしを支える行政サービスが、人口減少社会でも持続可能な形で提供され続けられるよう、地方行政体制やガバナンスに関する具体案が盛り込まれた意義深い内容であるので、総務省も実現に向けて全力で応援する」と挨拶を述べた。

本会の藤原会長は、答申案のとりまとめにあたった関係者に敬意を表したうえで、答申案の内容について、概ね理解すると発言。特に住民訴訟は、最終的に地方公共団体が長や職

員といった個人に対して、金銭の支払いを請求するという点において、国家賠償法上の求償と変わるものではなく、現行法下における不均衡の解消のため、軽過失の場合における、損害賠償責任の長や職員個人への追求のあり方を見直すべきとした答申案は、十分に理解できると述べた。

また、地方公共団体における内部統制体制の整備等の制度化では、かねてより慎重な検討をお願いしてきたが、今後、制度化を行う場合は、人口数や職員数の少ない町村の実情に十分配慮していただきたいと訴えた。

最後に、畔柳地方制度調査会会長が、今回とりまとめた答申は、人口減少社会において、地方自治体が行政サービスを適正かつ持続可能な形で提供可能にするという喫緊の課題について、現時点での一定の方向性を示すことができたとしたうえで、後日、本答申を安倍内閣総理大臣に提出する予定であり、政府においては、この内容を着実に実行してほしいと述べ、総会を閉会した。

活 動

◁第31次地方制度調査会総会



▽挨拶する土屋総務副大臣

人口減少社会に的確に対応する地方行政体制及びガバナンスのあり方に関する答申について

今回の答申は、行政サービスの持続可能な提供のための地方行政体制と長・監査委員等・議会・住民の適切な役割分担によるガバナンスのあり方を2本柱としている。

行政体制のあり方では、人口減少社会の中でも市町村が引き続き持続可能な行政サービスを提供できるような広域連携等と外部資源の活用による行政サービスの提供を提言した。具体的には、市町村間の広域連携が可能な地域では連携中核都市圏等を推進。将来的にはインフラの広域再編等にも対応するとともに、都道府県からの権限移譲なども求めた。一方、広域連携が困難な地域では、「都道府県の補完」も提言した。市町村の申出により都道府県の職員が執務スペースの共有や訪問などで補完する。併せて、窓口業務など公権力の行使にわたる包括的な業務は地方独立行政法人を活用する新たな制度創設を提言。広域連携が困難な地域では、共同して同法人を設立して事務を処理させることも求めた。

ガバナンスのあり方では、住民の信頼向上のため自治体事務の適正性

確保の要請が高まっているとして、長・監査委員等・議会・住民について改革案を提言した。具体的には、長が内部統制体制の整備・運用の基本方針を作成・公表する制度化を提案。なお、その具体的手続きでは団体の規模にも配慮するよう求めた。また、監査の実効性・独立性・専門性を向上させるため、全自治体共通の統一的な基準の策定や監査委員の研修を行うとともに監査を支援する全国的な共同組織の構築などを提言した。議会については、決算不認定の指摘事項に対する長の説明責任を果たす仕組みと、議選監査委員の設置の選択制を提案した。併せて、住民訴訟制度について、軽過失の場合の長等への責任追及のあり方を見直し、違法性等を確認する仕組み創設、権利放棄の手続きの整備などを提言した。

※答申については、以下のホームページに掲載されております。

〔総務省ホームページ〕

○第31次地方制度調査会第3回総会
http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/singi/chhou_seido/02_gyosei01_03000254.html

▷六戸町南部を流れる「奥入瀬川」

現地レポート

町村独自のまちづくり



「住みよさが魅力」の やすらぎと感動の定住拠点るくのへ

はじめに

六戸町は、青森県上北郡の東南部、八戸市・三沢市・十和田市の三市を結ぶ三角形の中心に位置する人口約1万1千人の町です。町内どこからでも三市まで車で10分から30分で移動できる恵まれた立地環境のもと、近年は、三市のベッドタウンとして発展しています。青森県内では数少ない転入者が増加している町で、人口、総世帯数も微



△三市のほぼ中心に位置する六戸町

青森県

ろく のへ まち
六戸町

増傾向にあります。

目立った高地や山岳はなく、町の大部分を平野と台地が占め、十和田湖に源を発する奥入瀬川、姉沼川など、大地と豊かな水に恵まれています。気候的には、青森県内では比較的温暖で積雪も少ない一方、ヤマセの常襲地帯で



△特産地鶏を使った「シャモロック鍋」

フォーラム

六戸町のシンボル「館野公園」

特産品のほか六戸町の自然環境と特徴あるイベントを紹介します。

もありません。

町では、こうした自然環境に対応した農業が基幹産業となっており、稲作のほか、特産地鶏シャモロックと黒毛和種牛の畜産、ニンニク、ゴボウ、ナガイモ、ニンジンなどの根菜を中心とする野菜作りが盛んで、中でも大玉にんにくの産地として全国で高い評価を得ています。

そうした優れた自然や立地環境など町の特性・資源を活かしながら、住みよい定住拠点づくりを目指しています。



△六戸町特産野菜

メイプルタウンみくんの

また六戸町の「町の木」は楓です。国道四十五号線の街路樹や、役場前広場の楓の木が、新緑から紅葉まで、季節ごとに町を彩っています。

キャラクターとしては「メイプルくん」



△六戸町イメージキャラクター「メイプルくん」



△六戸町のシンボル「館野公園」



△六戸町役場前の楓

ん」。楓をモチーフとし、未来への発展と躍動感を表現した愛くるしい姿が町のあちこちで見られます。

「戸の兄弟のまち」

青森県南から岩手県北にかけて分布する「戸」のつく地名があります。起源については二つの説があります。一つは、弘仁年間（八一〇年～八二四年）に、征夷大將軍・文室綿麻呂（ふんやのわたまる）が蝦夷平定後、この地に残した守備兵の駐屯地の名に由来するという説であります。もう一つは、鎌倉時代に、南部氏始祖・南部光行が源頼朝より糖部五郡を賜った際、郡を九つの部（戸）に分け、一部（戸）ごとに七つの村と一つの牧場を置いたことに由来するといふものです。

平成5年に岩手県一戸町、同二戸市、青森県三戸町、五戸町、六戸町、七戸町、八戸市、岩手県九戸村の首長が一堂に集まり、さまざまな話し合いを持つ「戸のサミット」が初めて開催され、翌年の第二回では、「戸の兄弟のまち」を宣言し、いろいろな分野で活発な交流を深めることを誓いました。

六戸町で毎年11月に行われている「メイプルタウンフェスタ」では、「戸のじまん市」として一戸から九戸までの各市町村の特産品が集合、多くの来場者でにぎわう町の名物行事となっています。

フォーラム

県南の拠点工業団地に新たに
大型木材加工場

農業を基幹産業とする六戸町ですが、恵まれた立地環境・交通アクセスを活かし工業の振興にも努めています。平成26年4月、町北部にある金矢工業団地に、新たに大型木材加工場の立地が決定しました。

青森県産の原木を使って単板積層材（LVL）という建築材料を作る工場で、昨年夏から本格生産を始めています。従業員は操業開始時に60人を地元雇用し、生産拡大の効果のほか、県産材の付加価値が高まることで県林業の活性化に寄与することも期待されています。



△メイプルタウンフェスタの様子

遊休地に新エネルギー基地
「進むメガソーラー」

平坦地が多く、年間日射量にも恵まれた六戸町では、近年、太陽光発電所の立地が相次いでいます。平成25年12月には東京の太陽光発電事業者による1,500kW級の発電所が稼働し、昨年10月時点で4発電所、計6,250kWが稼働しています。

また昨年7月、新たに別事業者が町内4カ所で合計2万3,500kWのメガソーラーの建設を計画しました。各施設は昨年の春に着工し、本年の夏の稼働を目指しています。

六戸町では、両事業所の施設のほか、企業・個人を含め太陽光発電施設の導入



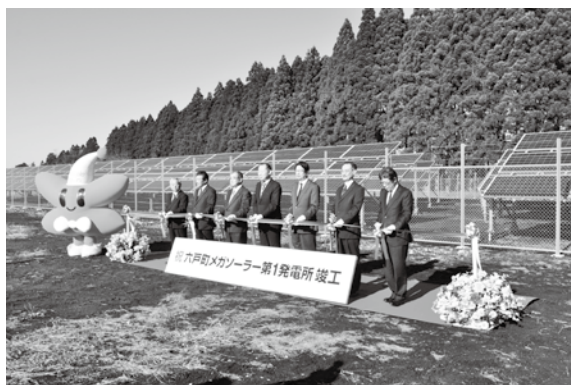
△六戸町金矢工業団地に建設された大型木材加工場

まちづくりに主体的に関わる町

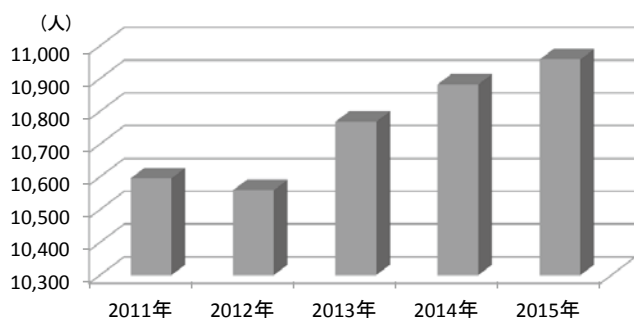
が盛んで、現在すでにあちこちで太陽光パネルが並ぶ光景が見られます。

六戸町は、八戸市・三沢市・十和田市に囲まれ、常に周辺地域との関係で歩んできた経緯があり、住民は買い物でも、勤め先という意味でも選択肢が多く自由度が高い恵まれた環境にあります。また、高い山も深い谷もないため自然災害がほとんどなく、県内では比較的積雪が少ないなど、地勢・気候条件からも「住みやすい町」と言えると思います。

これまで定住支援対策として「定住促進新築住宅建設補助金」「若者定住

△平成25年12月に竣工した
「六戸町メガソーラー 第1発電所」

六戸町の人口の推移



支援事業補助金」、子育て支援対策としては「中学生までの医療費助成」の各事業を実施した結果、微増ではありますが町の人口は増加傾向にあります。

増加の理由としては、そういった事業もあげられますが、転入されてきた新住民の皆さんが主導的にまちづくりに関わっており、地域住民をまきこんで自ら自主防災会を結成するほか、新規に夏祭りを開催するなど、自ら企画立案したものが実現できるという意識を持てるこ

フォーラム

現在は、需要も安定し、栽培農家の戸数は減少していても、この環境に対応したノウハウをしっかりとつかんで頑張っている人は、専業農家で高い所得を得ています。また、そうした農家では後継者もあり、「行者菜」など新た

六戸町は、地形的に丘陵地帯で、畑作に適しております。一方、ヤマセの常襲地帯でもありますので先人の農家の皆さんが、根菜を中心に厳しい気候に対応した栽培技術を確立し、それを引き継ぎながら野菜づくりが広がってきました。

より住みやすい町へ住民のまちづくり意識を活かす

とも増加の要因だと思えます。



△人口増加が進む「小松ヶ丘地区」

まなび

な作物に挑む農家もおります。そうした意欲ある農家や新たな取り組みを始める農家、新規就農者には、積極的に支援しており、基幹産業のさらなる振興に努めてまいりたいと思っております。

また農業に限らず近年は、若い人たちの地域づくりに対する関心が非常に高まっており、「住みやすさ」について自話し合い、自分たちで町の特長をつくっていくという人たちが増えてきました。

全国的にも少子高齢化の進行や財政状況の硬直化など、われわれ地方自治体を取りまく環境は、年々厳しさを増していますが、そのような中、私たちの町は、合併ではなく単独で進化していくという道を選択しました。幸いに六戸町は、多くの地域資源と「ひと」に恵まれ、それらを特色や個性としてまちづくりに活かしてきました。

これからのまちづくりでは、六戸町の多くの皆さんにとりまして「住みやすさが魅力・やすらぎと感動の定住拠点」として、すべての世代の方に「住んでよかった」と実感できるよう施策を実現していきたいと考えております。

六戸町長 吉田 豊

町村専用ページ「町村 .com」をご覧ください

● <http://www.zck.or.jp/choson/> ●

全国町村会では、全国の町村との連携を密にし、町村長と町村職員のみなさんの情報収集の利便性を向上させるため、町村専用ページ「町村 .com」を開設しています。

「町村 .com」では、全国町村会の活動状況や中央省庁などの政策情報を随時ご提供しているほか、全国の町村の先進的な取り組み事例をはじめ、各種統計資料など様々なデータも公表しています。

私どもは、「町村 .com」が町村関係者にとって真に役立つホームページとなることを目指し、こ

れからも充実をはかっていきたいと考えていますので、ご覧になったご感想・ご意見を、下記のメールアドレスにお寄せください。

kouhou@zck.or.jp

・「町村 .com」は、町村関係者の方だけがご利用いただける専用ページです。
ご覧になる際は、所定のパスワードが必要になります。

・ユーザー名とパスワードは、各町村にお知らせ済み（平成18年9月27日付）ですが、お問い合わせは、全国町村会広報部までメール(kouhou@zck.or.jp)でお願いいたします。

情 報

暮らしの視点

日本三大温泉

フリーライター 永浜 敬子

日本は源泉数が2万7、000湯を超え、その湧出量は毎分約260万リットルにものぼる世界屈指の温泉大国だ。温泉にまつわる神話や伝説も多く、古くから日本人に愛されてきたことが分かる。

さて、「日本三大●」は諸説あるのが常だが、温泉の場合は諸説というより、さまざまな視点からとらえた日本三大温泉があるのが特徴だ。まず、日本三名泉とされているのが有馬温泉

(兵庫)、草津温泉(群馬)、下呂温泉(岐阜)。これは室町時代の京都五山相国寺の詩僧である万里集九の詩文集『梅花無尽蔵』に、この三つの温泉が記載されていることに由来する。江戸時代後期の温泉番付『諸国温泉功能鑑』には、西の大関が有馬温泉で、東が草津温泉。当時は横綱という位はなく、大関が最高位とされていたので、この二つが江戸時代の東西の雄だったわけだ。

また日本三古泉とされているのは、日本書紀・風土記などに登場する有馬温泉、夏目漱石の小説『坊っちゃん』にも描かれた道後温泉(愛媛)、海岸沿いで景観が見事な白浜温泉(和歌山)である。ユニークなところでは、日本三大秘湯は二セコ薬師温泉(北海道)、谷地温泉(青森)、祖谷温泉(徳島)、日本三大美人の湯は川中温泉(群馬)、龍神温泉(和歌山)、湯の川温泉(鳥根)。これらは歴史的な文献などに基いたものではないが、美人の湯は肌がすべすべになったり、美白効果のある湯であることからそう呼ばれている。温泉には硫酸塩泉、鉄泉、硫黄泉など、さまざまな種類があり、それぞれに効能がある。どんな温泉に入っても体には良いことばかり。ゆっくり体を温めて、心身ともにリラックスすれば、どこの温泉でも気分はパラダイス!

新刊紹介

地域再生入門

寄りあいワークショップの力

山浦晴男・著 ちくま新書

860円+税

本書は、住民や行政、団体との連携や協働の手法について、長年にわたり現場で実践してきた筆者の成功事例を取り上げながら、「寄りあいワークショップ」という地域再生の手法を紹介するもの。

介するもの。

地域再生の基本哲学と具体的な方法論が仔細に記されているが、地域再生は詰まるところ住民の意識と行動に依るところがいかに大きい、筆者の主張が伝わってくる。

「寄りあいワークショップ」とは、どのような理念に基づくもので、どのような成果をもたらすのか。実際の事例をもとに各段階のプロセスが留意点とともに紹介されている。参加した住民の表情や取組姿勢の変化までもが伝わってくる。

地域再生には様々なやり方があり、成功が保証されるという絶対的な手法は存在しない。それ故苦労も多いが、成功事例の参照や試行錯誤を繰り返しながら前進するしかない。

筆者は、地域再生に取り組む人々や「地方消滅」に不安を抱く人々にとって、夢と勇気をもって取り組む一助になればと考えていると、本書への思いを綴る。住民が主体となつてあるいは、住民とともに地域の再生に取り組もうと考えている関係者にとって、本書は一つの解法を提供してくれるであろう。

車両共済(保険)のご案内

この車両共済(保険)は、町村生協の自動車共済で補償する対人賠償、対物賠償、限定搭乗者傷害等に加え「ご自身のおクルマの補償(車両保険)」を追加する制度です。お車が衝突した場合や台風・いたずら・盗難など偶然な事故で損害を被ったときに、共済(保険)金をお支払いします。

●お見積りのご請求・お申し込み・お問い合わせなどは、下記までご連絡ください●

株式会社 千里(取扱代理店)

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-32 全国町村会館西館内

●ホームページアドレス <http://www.chisato-ag.co.jp>

(受付時間 月～金 午前9時30分～午後5時)

お電話の際には、車検証をお手元にご用意ください



0120-731-087

FAX 03-3519-7325

●「車両共済(保険)制度」は、全国町村職員生活協同組合と損害保険ジャパン日本興亜株式会社とが団体契約を締結し、実施しているものです。

●集団契約としてご契約いただけるのは、保険契約者および被保険者が損保ジャパン日本興亜の定める条件を満たす場合のみとなります。

詳細については、取扱代理店(千里)までお問い合わせください。

(車両保険引受保険会社) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社

(「損害保険ジャパン日本興亜株式会社」は損保ジャパンと日本興亜損保が2014年9月1日に合併し誕生した会社です。)

◎諮問会議・一体改革委が地方3団体と意見交換―政府

経済財政諮問会議の経済・財政一体改革推進委員会は2月1日、経済・財政再生計画をめぐり地方3団体と意見交換した。平井伸治鳥取県知事は、地方行革の実績を強調し、「地方だけ減らしてもトータルの国・地方のプライマリーバランスにつながらない」と指摘。太田昇岡山県真庭市長も、地方の歳出削減努力で生み出した財源は地方に帰属すべきで「国のプライマリーバランス改善に利用されることがあってはならない」とした。戸田善規兵庫県多可町長は、歳出効率化団体を交付税算定に反映させるトップランナー方式について「中山間地域や離島等の町村では民間委託先を見つけることが困難」だとして、各地域の実態を踏まえた対応を要請した。また、同小委の下に設置された「制度・地方行財政ワーキング・グループ」も2月12日に審議を開始。今年夏に「骨太方針2016」をまとめる経済財政諮問会議に報告する。

一方、財務省の財政制度等審議会財政分科会が2月5日、審議を開始。委員から、「経済成長の税収増は財政赤字の削減に充てるべき」「地方財政の一般財源実質同額の財政規律は、当初予算ベースのみで考えて良いのか」などの意見が出た。また、女性公聴会を4月22日に開催、財政再建・次世代への負担先送りなどを議論する予定。

◎日本版CCRC構想など地域再生法改正案を決定―政府

政府は2月5日、日本版CCRC構想などを盛り込んだ地域再生法改正案を閣議決定した。同構想は、中高年齢者が健康時から地方や「まちなか」に移住し、健康でアクティブな生活に必要な医療・介護を受けることがで

きる地域づくりを進める。都道府県等が地域再生計画を国に申請、市町村が「生涯活躍のまち形成事業計画」を作成する。同計画には、中高年齢者の就業・生涯学習・社会活動参加、有料老人ホームなど住宅整備、介護サービスの提供体制、移住希望者の来訪・お試し滞在などの施策を盛り込む。国は「手引き」作成や人的支援、新型交付金などの財政支援を行う。このほか、地方創生推進交付金（新型交付金）、地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）も盛り込んだ。新型交付金は自治体で作成した地域再生計画に記載された事業（複数年度も容認）に交付（補助率2分の1）する。2016年度予算案には1,000億円を計上、同裏負担は総務省が地方財政措置する。

一方、一億総活躍国民会議は2月23日、非正規労働者の待遇改善策を議論。安倍晋三首相が、賃金差の正当・不当などのガイドラインを早期に制定するとともに、同一労働同一賃金の法制化の準備を指示した。また、第3回地域しごと創生会議が2月7日開かれ、ローカル・ベンチャーの群れを育てる岡山県西粟倉村の挑戦などが紹介された。

◎2016年度地方財政計画・地方交付税法改正案など決定―政府

政府は2月9日、2016年度の地方財政計画や地方交付税法改正案、地方税法改正案を閣議決定した。地財計画は、一般財源総額を前年度比1,307億円（0.2%）増の総額61兆6,792億円計上。地方交付税も、地方税が同1兆2,103億円（3.2%）の大幅増となる中、前年度とほぼ同額（0.3%減）の16兆7,003億円確保した。一方、財源不足は5兆6,063億円（前年度比28.3%減）に縮小、臨時財政対策債も

3兆7,880億円（同16.3%減）に減少させた。このほか、まち・ひと・しごと創生事業費として前年度に引き続き1兆円を確保。重点課題対応分として森林吸収源対策等（500億円）などを創設した。

交付税法改正案では、骨太方針2015を受けて、新たに民間委託など歳出効率化団体を基準財政需要額算定に反映する「トップランナー方式」を導入した。対象23業務のうち16年度は16業務で着手。3～5年かけて学校用務員事務・小学校は2,927千円（見直し前3,707千円）、体育館管理は29,441千円（同31,370千円）、住民基本台帳は13,265千円（同17,586千円）に引き下げる。なお、小規模自治体には段階補正で調整する。このほか、特別交付税の割合を頻発する大規模災害に対応するため6%を維持する。地方税法改正案では、法人事業税の一部を都道府県が市町村に交付する法人事業税交付金を創設するほか、自動車取得税を廃止し自動車税・軽自動車税に環境性能割を創設する。

◎「食と農の景勝地」の年内指定へ実施要綱案―農水省

農林水産省は2月12日、食と農の景勝地検討委員会を開き「食と農の景勝地」（仮称）実施要綱案を提示した。3月中に決定し、年内にも同地域を指定する。同構想は、地域の食と農林水産業の景観を活用して観光客を誘致するなど国内農林水産物の需要拡大と農山漁村の所得向上が目的。日本版DMO（自治体、農協、観光協会など）が今後5年間の取組計画を作成、農水省が「食と農の景勝地」として認定する。同計画には推奨訪問先―ト設定や伝統的な料理、その食を生産する農林水産業・文化・伝統工芸・自然景観などを

盛り込む。政府は、同制度の海外PRをはじめ関係府省が連携して支援する。

また、農水省は2月22日、林政審議会を開き、「森林・林業基本計画」の変更を審議した。同日提示された素案では、政府が講ずべき施策として、森林施業・林地の集約化や森林資源の活用による就業機会の創出、スケールメリットを生かした林業経営の推進、人材の育成・確保、新たな木材需要の創出などを挙げた。さらに、様々な森林がモザイク配置された状態を目指し育成複層林化等へ誘導する。このため、森林の多面的機能の面積目標値について、育成単層林は2015年の1,030万haを20年、25年には各1,020万haに、育成複層林は15年の100万haを20年120万ha、25年140万haにするなどとした。

◎公共建築物の木材利用状況を発表―農水省・国交省

農林水産省と国土交通省は2月18日、公共建築物の木材利用促進法に基づく2014年度の実施状況を発表した。国では、低層の公共建築物100棟のうち阿蘇草原学習館（環境省・684㎡）など32棟を木造化したほか、病院棟のカウンター（厚生労働省）など172棟で内装等を木質化した。

また、自治体では木材利用促進方針を全都道府県と1,472市町村が策定。うち、青森、栃木、富山のほか、西日本の各県など30県で県内の全市町村が策定済み。事例をみると、体育館（静岡県）、文化会館（南陽市）、町役場（岩手県住田町・愛媛県鬼北町）、小学校（福井県南越前町）、小中一貫校（愛知県飛島村）、中学校（宮崎県綾町）、総合庁舎（高知県橋原町）などがある。

（ジャーナリスト 井田正夫）

随 想

私は昭和24年生まれ、戦後の団塊世代であります。物心ついてから60年余り、日本の歴史において20世紀後半は最も大きな変革の時代であり、急激な経済発展によって日本社会が大きく変貌するなかで、それを必然的な時代の流れとして今日まで人生を歩んできたように思います。子供の頃の農山村は国の食料とエネルギーを支え、その資源の供給地域として、その時代の中では豊かで活気ある生活が営まれていました。私もその資源によって育てられ都会の学校にも行かせてもらえたと思います。

職として町の公共施設の計画、設計から維持管理を担うと同時に企画担当として総合計画から財政まで町行政全てに関わり、その延長線で助役、町長として務めてきたところです。33年間を振り返ってみると毎年いろんな出来事があり、多くの事業を行ってきました。10年前には町合併も成し遂げ、6年前には町の歴史上最悪の大水害にも襲われ人生で二度と味わいたくない苦労もしましたが、500億円を超える河川の大規模改修工事間もなく完成します。これまでの主だった事業を思い浮かべても、インフラ整備として生活道路はすべて舗装し、各家々まで車が入れるよう改良も行いました。水道は全戸に行き渡り下水道と合併浄化槽によって山奥の家まで水洗トイレとなり、今では学校、保育園までウォシュレットになりました。文化センター、図書館、音楽ホールなどの文

化施設、温水プール、体育館、屋内ゲートボール場、野球場などのスポーツ施設も整え、学校や園舎などの教育施設も全て整備が出来ました。町内の交通もコミュニティバスの運行と併せて町内全域でデマンドバスを運行し、タクシー運賃の半額補助まで行っています。子育て支援センターについても、子育て支援センターを建設し、医療費の無料、保育園、学童保育は第2子以降全て無料、学校給食費は半額補助、学校での副教材費も無料とし、町民の医療においても予防接種の補助、国保会計への1億円近い一般会計からの繰入れなど数えあげたらきりがありません。昔と比べて手厚い行政サービスを行政サービスは減り続けています。それでも行政サービスを後退させることはできず、これを実施する町予算は今年も一般会計で130億円にのぼり、その中で自主財源である町税は20億円ほどしかありません。合併して町面積は300km²と広くなりました。人口が18,000人を割る町でこれだけ事業を行い、行政サービスができることを不思議に感じますが、町民からは国保税や介護保険料が高いと言われ、町としても国に対して地方財政の充実を要求し続けていますが、実際これだけの

行政が行える日本は素晴らしい国だと思えますし、この時代に生まれたことに感謝しなければならぬと思います。一方、国民として国の状況を見たとき、1,000兆円を超える借金がある中で、なお借金をしながら国の隅々まで公平な行政サービスが行えるお金が市町村に交付される、こんなありがたい国は世界の中でも数少なく、国民も生活が昔と比べて、これほど豊かで便利になったことは身をもって理解しているはずですが、豊かさへの追求と行政への要求は際限がありません。しかし、少子高齢化はまだまだ進み、人口は急激に確実に減っていきます。国力も減退し国の借金にも限界があります。また地球の温暖化もますます進み、生命の危機さえ叫ばれ、温暖化ガスの削減は待たなれず。今以上の豊かさを追求することが幸せにつながるのか？本当に大切なことを犠牲にして経済発展を求めることが幸せにつながるのか？これ以上の行政サービスを充実することが本当の住民福祉の向上になるのか？もうそろそろ、足るを知り、以って自らを誡めなければならぬ時だと思ふこの頃であります。

随

想

雑感 「知足」

兵庫県佐用町長 庵 途 典 章



TIME of RELAXING

「ゆとり」と「やすらぎ」のひとつとき

静かさと心地よさに配慮し、室内インテリア全体を落ち着いた雰囲気にとり、ゆったりとしたやすらぎのひとつときをお届けいたします。

<http://www.zck.or.jp/kaikan/index.html>

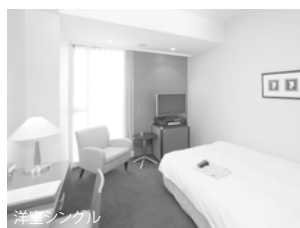


土・日・祝日は リーズナブルに

土・日・祝日のご宿泊は、
平日料金の **20%OFF**

金曜日のご宿泊は、
平日料金の **15%OFF**

和室もございますのでお問い合わせ下さい。
禁煙ルームをご用意しております。



シングル 119 室
平日料金 10,100 円より

SINGLE
ROOM

金曜日料金
15% OFF
8,600 円より

土・日・祝日料金
20% OFF
8,100 円より



ダブル 12 室
平日料金 13,700 円
〈2 名利用〉※1 名利用の場合 11,400 円

DOUBLE
ROOM

金曜日料金
15% OFF
11,600 円
※1 名利用の場合 9,600 円

土・日・祝日料金
20% OFF
10,900 円
※1 名利用の場合 9,000 円



ツイン 17 室
平日料金 19,000 円より
〈2 名利用〉

TWIN
ROOM

金曜日料金
15% OFF
16,200 円より

土・日・祝日料金
20% OFF
15,200 円より



会議室・宴会場

2 階には広さと設備が多彩な、大小 4 つのホール、会議室。高い機能性を持ち、さまざまな演出が可能です。会議・研修、パーティーなどに幅広くご利用いただけます。



カジュアルレストラン「ペルラン」

ランチタイム 11:00 ~ 14:00
ティータイム 14:00 ~ 17:00
ディナータイム 17:00 ~ 22:00
(21:30 ラストオーダー)

レストラン
ペルラン
Pierle



和食処「さいから」

ランチタイム 11:30 ~ 14:30
(14:00 ラストオーダー)
ディナータイム 17:00 ~ 22:00
(21:30 ラストオーダー)

和食 さいから



全国町村会館

市町村職員共済組合等の宿泊助成がご利用いただけます。

お電話でのご予約・お問い合わせは

TEL 03(3581)0471

FAX 03(3581)0220

〒100-0014 東京都千代田区永田町 1 丁目 11 番 35 号

WEB からのご宿泊予約は、特別料金(部屋数限定)がございます。

ホームページは **全国町村会館**

Q 検索

全国町村会館へのアクセスガイド

- 有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町」3 番出口徒歩 1 分
- 丸の内線・銀座線「赤坂見附駅」徒歩 8 分
- タクシー東京駅から約 20 分

